

事務事業名		広報広聴事業(旧広報発行事業)		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		広報情報課		事業種別	政策	開始	S25	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	9	市民と共に進める行政経営					
		施策	92	情報共有の促進					
H28担当課等名		H28係等名		広報広聴係		H27係等名 広報広聴係			
目的	対象(誰・何を)	①全市民、②市外の人(全国)			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	①広報いいたの発行により、市政に関する情報を分かりやすく市民に提供する、②飯田市の魅力を全国へ発信する				飯田市の人口(人)		102223	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合(%)				日本の人口(千人)			
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	市の情報提供についてのアンケート調査結果より、市からの情報を広報いいたから得た人の割合(%)			70	70	70	-	
	成果指標	飯田市の魅力発信事業に参画してくれる市民・企業の数				20	20	-	
定性目標									
事業概要	<p>1 「広報いいた」を発行する。 ・1日号 35,400部/回 年12回発行 ・15日号 34,700部/回 年9回発行(8、12、1月なし)</p> <p>2 飯田の魅力を戦略的に発信する。シティプロモーション事業。 ①効果的に発信する ②市民の愛着や誇りを高める(シビックプライド) ③専門家や外部の応援団をつくる</p>								
	事業内容				名称		活動指標		
27年度事業内容	1 「広報いいた」発行事業 (1) 1日号 年間12回発行(毎月) (2) 15日号 年間9回発行(8月、12月、1月はなし)				1 (1) 1日号の発行 (2) 15日号の発行		1 (1) 35,400部/回 (2) 34,700部/回		
	2 シティプロモーション事業 (1) 飯田の魅力情報パンフ「ファクトブック」の作成及び配布 (2) メディア関係者へのプロモーション活動 (3) 情報発信の体制強化(研修会の実施) (4) プロモーションビデオ「つもりやもりの大冒険」制作及び配信				2 (1) 「ファクトブック」(日本語版、英語版)の作成及び配布 (2) プロモーション活動(営業活動) (3) 研修会 (4) YouTubeでの再生回数		2 (1) 年間10,200部 (2) 年間16回 (3) 年間3回 (4) 3月末 6,200回		
	事業コスト				26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足
	事業費計(千円)①		16,900	26,422	25,983	22,009	(そ) 諸収入 H26→H27繰越(地方創生先行型)		
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		1,402	3,256	3,256	1,754				
一般財源		15,498	23,166	22,727	20,255				
人件費計(千円)②		12,516		12,516					
正規職員所要時間		3,500		3,500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		29,416	26,422	38,499	22,009				
事業内容・目標達成状況の振り返り	特集記事のテーマ・内容は、平成24年度以降、理事者と協議すること等も踏まえ、特に質の向上を図っている。ファクトブックの制作及び配布により、飯田市外に向けた情報発信を行うことができた。その結果、食の専門誌やテレビ等に取り上げられた。また映画の撮影地として取り上げられ、きめ細やかな対応を行い、関係者に対して良い印象を与えるとともに、市外に対して広報できた。								
改革改善の考え方	①問題点	①広報編集ソフトの老朽に伴い、印刷会社とのデータ送受信が不可能な状況となっている。 ②ふるさと納税者の急増に伴い、納税者への市報発行部数が増加傾向にある。							
	②改革提案	①最新の編集ソフトに更新し対応したい。買取方式でなく月額使用料を払うことで、経費削減とする。 ②増加しているふるさと納税者に対する発行増刷分があるものの、市報発行予算は据え置きのままとする。							